



「災害ボランティア支援事業 in 福島」 ～津波と原発事故を学習～

10月17日～20日、公募で選ばれた生徒有志6名は、「災害ボランティア」を行ってきました。初日は宮城県松島海岸のクルーズ船上で、被災者から震災の講話を伺いました。2日目は福島県富岡町で、地元の復興の取り組みを学び、全日農業のお手伝いをしました。3日目は原発事故の対策本部が置かれた「J ヴィレッジ」で当時の状況等を伺い、午後は、「ふたば未来学園高校」の生徒たちと交流を深めました。4日最終日は「原子力伝承館」と震災遺構「請戸小学校」を見学し、原発事故の恐ろしさや深刻さとこれまでの足取りを学んできました。これらの充実した体験をもとに、今後報告会や発表会を行う予定です。



被災者の講演を聴きました



5月11日、2年生は阪神淡路大震災で被災した柴田大輔氏の体験を聴きました。現実の酷さに涙の止まらない講演でした。

防災講習会&防災アトラクション



2年生は6月15日、高石市職員から「防災講習会」を受講しました。22日には、防災アトラクション講演会を体験しました。

生徒会執行部リーダー研修 ～三重県立南伊勢高校にて～

7月26日、生徒会執行部のメンバーは三重県立南伊勢高等学校にお邪魔し、現地での防災減災活動の取り組みを学んできました。南伊勢高校は山間の度会校舎と海に面した南勢校舎の2校舎から成る高校です。南勢校舎は、長年小中高の連携で防災活動に取り組まれてきました。その実績が評価されて、昨年9月に岸田内閣総理大臣から表彰をされています。現地では避難所や南勢中学校の避難施設も見学しました。交流会では、地元キャラクターを模した「たいみー焼」を南伊勢高校の生徒さんと一緒に調理し試食しました。参加メンバーは地域の方の防災意識の高さに大いに刺激を受けたようで、今後の取り組みに活かしてくれそうです。



防災を市役所で学習

9月29日、災害ボランティア事業参加生徒が、高石市危機管理課を訪れ、防災のレクチャーを受けました。



中学校で防災講演

10月23日、高石中学校から「防災減災活動」の依頼があり、選抜された2年生の4名の生徒が講演しました。クイズを取り入れるなど工夫もあり、中学生は、真剣に話を聴いていたそうです。



高石市と連携

「津波合同避難訓練」開催

11月1日、高石市主催の津波合同避難訓練に1・2年生が参加し、2km離れた鴨公園グラウンドまで徒歩で移動しました。生徒は避難経路をしっかりと確認し合いました。

